

研究タイトル: EFL 教育におけるイノベーション: CLIL を使用して日本における英語の関連性と信頼性を高める。



| | | | |
|----------|---|---------|----------------------------|
| 氏名: | リービスカーティス | E-mail: | revis@tokuyama.kosen-ac.jp |
| 職名: | 助教 | 学位: | 世界文学修士号 |
| 所属学会・協会: | J-CLIL; COCET; The Society for Literature, Science and the Arts | | |

キーワード:

技術相談
提供可能技術:

- ・
- ・
- ・

研究内容:

1) CLIL を活用して EFL 教室の関連性と真実性を高める

2017 年以來、日本の EFL 教室における英語の関連性と真正性を高めるための CLIL (クリル) 手法の活用について研究を行ってきました。さらに、研究成果と教室実践の成果を積極的に発表し、様々な国際会議で発表してきました。その結果、日本における CLIL の活用には、一貫して検証可能なメリットがあることを実感しています。

2) 異文化コミュニケーション能力教育者。

アメリカと日本の大学で教鞭を執り、留学生が異国での複雑なコミュニケーションや交流を乗り越えられるよう支援してきました。また、その過程では、教育スタッフや事務スタッフと協力し、背景や文化への深い理解を必要とする様々な複雑な問題に取り組んできました。また、イリノイ州ブルーミントンにある三菱自動車アメリカ本社で勤務し、従業員とのコミュニケーションに日本語と英語の両方を使用しました。大学では日本語と日本文化を学びました。20 年以上日本に住んだことで、日本の文化と言語への理解が深まり、コミュニケーションを複雑化させたり阻害したりする異文化間の問題に対処する訓練を日々積むことができました。さらに、私はシンガポール、香港、フィンランド、日本で行われた ISATE カンファレンスで国際的な聴衆に教育イノベーションについてのプレゼンテーションを行い、日本でのそのようなカンファレンスの企画と実施に協力しました。

3) 学習テクノロジーとしての Kahoot

私は 2019 年からオンラインインタラクティブ学習テクノロジー「Kahoot」の制作、活用、そしてプロモーションに積極的に取り組んでおり、COVID-19 パンデミックの期間中はオンライン授業で Kahoot を積極的に活用しました。これらの Kahoot へのアクセスを販売しており、最近、日本の「Kahoot アンバサダー」に就任しました。

4) アナログとデジタルの教育教材の著者。

日本、アメリカ、台湾、イスラエルの私立・公立の教育機関や企業向けに、教材・試験教材を制作してきました。これらは紙媒体とデジタル媒体の両方で、それぞれの出版媒体の制約や強みに合わせてカスタマイズされています。現在のプロジェクトは、日本市場向けの CLIL と、国際的な読者層向けの Kahoots に重点を置いています。

5) フィクション、ノンフィクション、詩の出版作家。米国の大学で学術ライティングを教えた経験あり。

提供可能な設備・機器:

| 名称・型番(メーカー) | |
|-------------|--|
| | |
| | |
| | |
| | |